

2014



石神井中だより

平成26年10月14日 発行 10月号

- 明るく、健康な生徒
- 正しい判断力を持ち、主体的に
学び行動する生徒
- 豊かな情操を持ち、品位ある生徒

<http://www.shakuji-j.nerima-ky.ed.jp/>

実りある季節

校長 田中 隆史

日ごとに秋の色が濃くなってきました。生徒の皆さんは、「秋」と言えば、何を連想するでしょうか。「食欲の秋」「文化の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」でしょうか。

最近では、今年の新米がスーパーなどの店頭で登場し、売られています。農産物の栽培に携わっている農家の人たちにとっては、「実りの秋」です。今までの努力が収穫という形で報われる大切な季節です。

皆さんにとっても、これまで取り組んできた活動の成果を実らせ、実績として自分の財産にする大切な季節にしなければなりません。この季節は、人間の身体にとっても適温と言える時期であり、脳の活性化が図られる時期でもあります。様々な活動を実りあるものにするためには、一層の努力を積み重ねていくことが大切です。

さて、10月20日（月）から2学期が始まります。これまで取り組んできた活動を実らせるためにも、10月17日（金）に手渡される通知表などを参考に1学期の取り組みを振り返ってみてください。これまでの学習活動などを地道に積み重ねてきたでしょうか。その成果はどうだったでしょうか。皆さんには、この1学期の活動をしっかりと締めくくり、その成果と課題を2学期に繋げ、さらに生かして行って欲しいと思います。

1学期を締めくくるといえることは、ただ単に「目標が守れた」「よくできなかった」と反省するだけでなく、これまでの学習活動などに対する自分の心がけや実際の行動を一つ一つ見つめ直し、良い点をさらに伸ばすためにはどうしたらよいのか、反省すべき点を改めたり、補ったりするにはどうしたらよいのかは、周囲の先生方や家族から助言してもらいながら、それらを自分自身で明らかにし、次の学期への手立てと見通しをもつことです。学習活動であれば、教科の先生方から具体的に何に気を付け、どのように取り組んだらよいのか、直接アドバイスをしていただきながら、それぞれの授業に対する自分の戦略を立てることだと思えます。

1学期をしっかりと締めくくって、2学期を迎えることは、これまで取り組んできた活動を実りあるものにするだけでなく、自分自身をより高め、進歩させることとなります。

夢のある者、	希望がある	希望のある者、	目標がある
目標がある者、	計画がある	計画のある者、	行動がある
行動のある者、	実績がある	実績がある者、	反省がある
反省がある者、	進歩がある	進歩がある者、	夢がある

（名言集より）